

有限会社プロトワーク

若い力でものづくりの
サポーターを目指す

平均年齢28歳の若い社員が力を発揮

業務内容
NOと言わない姿勢
特殊加工の実績重なる

家電・複写機、自動車、半導体製造装置などに使われる部品、開発試作品の加工を行っている。樹脂加工を主としてきたが、5軸加工機の導入以降、アルミなどの金属加工も増えている。短納期で高精度製品を加工できる設備、技術力を持ち、特殊な加工の注文にも「できません」とは決して言わない。様々な難しい加工に挑戦してやり遂げた実績を積み重ねてきた。発注企業にも口コミで同社の評価が伝わり、取引先は拡大の一途をたどっている。

強み
自由な発想で新たな
ものづくりに挑戦

平均年齢28歳の若い社員が自発的に動くことが同社の強み。田村常之進社長は「自分自身が人から言われるのではなく、やりたいことをやれる環境を求めている」とし、若手が自由に動ける環境づくりを心がけた。既成概念にとらわれず常に新しいモノづくりに挑戦する風土で、技術力を高めている。5S委員、安全委員、車両委員など多岐にわたる社内委員会制度を導入しており、各委員会のリーダーは新人社員が務める。社員各人が責任を持って会社の運営にあたっている。新卒採用も4年前から継続、全員で作り上げた働きやすい職場環境が人気を呼び、毎年多数の学生が同社を志望するという。性別や文系、理系の区別もせず、ものづくりの好きな人を基準に、多様な人材を集めている。

自製
アイデア商品を開発
売れ行き好調

社員を対象に製品アイデアコンテストを実施、優秀作品を製品化した。「かたポン」は食器洗剤を片手でスポンジに付けられるポンプ。第2弾は学生との共同プロジェクトで、「かたポン」に比べて洗剤の量を減らすことができる環境配慮型商品として「エコポン」を開発、発売した。田村社長は自社製品について「あくまで社員のモチベーションを高めることが目的」と話す。大手量販店や通信販売などで好調な売れ行きを示している。

今後の
展望
高品質、デリバリー
スピードを追求

「国内のモノづくりが生き残るには、スピードとクオリティを追求するしかない」というのが田村社長の持論。コスト競争に陥るのを防ぐために、品質を高めながら、デリバリー性の向上に力を注いでいる。品質面では、不良率を公開してゼロに近づける努力が続ける。スピードを上げるために、既に年中無休を実現し、いつでも注文を受けられる体制を整えた。受注から工程管理、請求書発行まで一貫した生産管理システムも構築、生産リードタイム短縮に努めている。将来は海外工場設置も視野に入れ、日本との時差を活用しながら究極のクイックデリバリー体制を構築する考えだ。



本社社屋

COMPANY PROFILE

有限会社プロトワーク

大阪
25当社の
歴史

高校時代のアルバイト勤務を経て就職した部品加工会社の先輩と3人で設立した会社です。ものづくりの好きな若い人を集めたいという思いから、現在の本社社屋を建設、社員全員で今の環境を作り上げてきました。現在は本社工場と豊川工場(愛知県豊川市)の2工場体制で、日本のものづくりのサポーターになることを目指しています。

新しいことにチャレンジしている若者の会社です。

代表取締役 田村 常之進さん



■主な事業内容

開発試作品や小ロット製品の樹脂加工、金属加工等

■主な取引先(納入先)

家電メーカー、自動車部品メーカー、半導体メーカー

住所 / 〒570-0044
守口市南寺方
南通1-5-26
TEL / 06-6993-6361
FAX / 06-6993-6362
創業 / 平成6年6月
設立 / 平成8年8月
資本金 / 1000万円
従業員 / 33名

http://www.plot.jp/